

記入例 記入前に下欄の[注]を必ずお読みください。

書式1 **履 歴 書** No. 1

学内で旧姓等の通称利用を希望される場合は、戸籍上の姓の後に括弧書きで旧姓等を記入してください。		履歴書作成年月日 20●●年●月●日現在
ふりがな 氏名 太郎	1970年11月5日生	(男)・女
現住所 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町601番地		2025年4月1日現在満54歳
電話 (075) 251-3220		E-mail ji-gakji@mail.doshisha.ac.jp

採用・昇任等予定年の4月1日現在。(年度途中の採用・昇任等の場合は採用・昇任等日付の満年齢を記入してください。)

学歴職歴等の項目別	西暦		学 歴 ・ 職 歴	卒業・修了・退学の別
	年	月		
学歴	自	1986	同志社高等学校 (注(1)の「満15歳以後：中学を含まない」)	卒業
	至	1989		
学歴	自	1989	同志社大学法学部法律学科 (在学留学：〇〇大学××学部 1991年4月～1991年9月)	卒業
	至	1993		
学歴	自	1993	同志社大学大学院法学研究科私法学専攻博士前期課程	修了
	至	1995		
学歴	自	1995	同志社大学大学院法学研究科私法学専攻博士後期課程	退学
	至	1998		
職歴	自	1998	同志社大学法学部助手	誤記された場合は二重線で抹消のうえ、訂正印を押してください。
	至	2001		
職歴	自	2001	同志社大学法学部専任講師	大学院は専攻があれば必ず専攻名まで記入し
	至	2004		
職歴	自	2004	同志社大学法学部助教授	
	至	2010		
職歴	自	2010	同志社大学法学部教授	
	至	現在		
職歴	自	2013	同志社大学大学院法学研究科博士前期課程教授	
	至	2018		
職歴	自	2018	同志社大学大学院法学研究科博士後期課程教授	
	至	現在		

**採用・昇任等予定年の4月1日現在。(年度途中の採用・昇任等の場合は採用・昇任等日付の満年齢を記入してください。)

学校法人 同志社

[注] (1)専任の場合、満15歳以後の学歴・職歴をもれなくご記入ください。
 (2)嘱託講師の場合、大学学部卒業以後の学歴・職歴をもれなくご記入ください。

記入例

書式3

業 績 書

No. 1

業績書作成日

20●●年●月●日現在

氏 名	「〇△学修士」「修士(〇△学)」の2 パターンの表記があり、取得年月が 1991年7月以降かどうかで表記が異 なります。取得した学位を正確に記載 してください。(博士も同じです)	学 位	修士 (法学)	博士 (法学)	Ph. D.
		取得年月	1995年 3月	2013年 3月	2016年 6月
		授与機関名	同志社大学	同志社大学	コロンビア大学

項目別	西暦 年 月	論 文 ・ 著 述 ・ そ の 他
修士論文	1995 3	<p>論文名 例：「論文名」 ●●大学修士論文 ※英語表記の場合は“論文名”</p>
博士論文	2013 3	<p>論文名 例：「論文名」 ●●大学博士論文 ※英語表記の場合は“論文名”</p>
著書 (単行本) 著書 (単著)	2020 5	<p>書名、発行所名、巻号数(シリーズもの(全集、講座、叢書、双書等)の1冊である場合)、著者名、総ページ数等 例：『書名』 (発行所名)、著者名、全●頁 例：“書名”，発行所名，著者名，●pages ※英語表記の場合 著者が1名の場合のみが該当します。担当部分が単独執筆であっても当該著書等に 記載された著者が複数いる場合には、共著に分類してください。</p>
著書 (共著)		<p>書名、発行所名、巻号数(シリーズもの(全集、講座、叢書、双書等)の1冊である場合)、著者名、(総ページ数)、本人担当部分等 例：『書名』 (発行所名) 共著者または監修者名等 *担当執筆箇所「第●章 タイトル●●」 (pp. ●●～●●) 例：“書名”，発行所名，共著者または監修者名等 *担当執筆箇所 第●章，タイトル●●，pp. ●●～●● ※英語表記の場合 著者が複数の場合が該当します。担当部分が単独執筆であっても当該著書等に 記載された著者が複数いる場合には、共著に分類してください。 共著の場合は、原則として本人を含めて共著者名をすべて記載し、本人担当部分が 明確になるように (担当部分の章、節、題名、掲載ページ等) 記載すること。 共著者多数の場合は、主な著者と本人を記載し、他〇名とすることも可。</p>
学术论文 (査読付)		<p>論文名、著者名、掲載誌名、巻・号、掲載ページ等 学術雑誌、学会機関紙、研究報告等に <u>学术论文</u>として発表したものを 記入すること。</p> <p>単著の場合 例：「論文名」、著者名、『掲載誌名』巻・号、 pp. ●●～●● 例：“論文名”，著者名，掲載誌名 (巻・号) ， pp. ●●～●● ※英語表記の場合</p> <p>共著の場合 例：「論文名」、著者名 (共著者・本人の氏名を掲載順に) 『掲載誌名』巻・号、pp. ●●～●● 例：“論文名”，著者名 (共著者・本人の氏名を掲載順に) ， ，掲載誌名 (巻・号) ，pp. ●●～●● ※英語表記の場合 共著の場合は、原則として共著者名をすべて記載してください。 共著者多数の場合は、主な著者と本人を記載し、他〇名△番目とすることも可。</p>

英語表記は「J」ではなく「J」としてください。

同一項目の中では、**発行年の古い業績から新しい業績の順**に記載してください。

複数ページはpp.としてください。

「学术论文(査読付、査読なし)」に分けてください。「総説」、「紀要」、「報告」、「プロシーディング」はそれぞれ項目を分けてください。

記入例は2枚目に続きます。

*学位欄に学士は記入不要です。

学校法人 同志社

氏 名 今出川 太郎

項目別	西暦 年 月	論文・著述・その他
学会発表 【国際】 (口頭発表)	2020 8	<p>題名、発表者名、発表学会大会名、開催地等</p> <p>例: 「題名」、発表者名(○○学会第○○回大会(於○○大学))</p> <p>例: “題名”, 発表者名, ,○○学会, 第○○回大会, 於○○大学 ※英語表記の場合 共同発表の場合は、原則として共同発表者名をすべて記載してください。 共同発表者多数の場合は、主な発表者と本人を記載し、他○名△番目とすることも可。</p>
【国内】 (口頭発表)	2020 10	<p>例: 「題名」, 今出川太郎, ●学会第49回大会, ●大学</p> <p>学会発表は「国際学会」と「国内学会」に分けてください。 またそのうち「口頭発表」と「ポスター発表」に分けてご記入ください。</p>
その他		<p>(業績上参考になるもの)</p> <p>適宜区分を設けて(ポスター発表、翻訳、研究ノート、書評、教材、特許等)記載してください。辞典の項目執筆等はこの項目になります。</p> <p>「総説」、「学会抄録」、「依頼原稿」等にあつては当該記事のタイトルを「ポスター発表」、「報告発表」、「座談会」、「討論」等にあつては当該テーマを記入してください。</p> <p>なお、英語表記の場合“タイトル”等の表記にしてください。</p>
翻訳		<p>書名、発行所名、訳者名、総ページ数、原著者名、原著名等</p> <p>例: 『訳書名』(発行所名)、訳者名、総ページ数〔原著者名、原著タイトルなど〕</p> <p>共訳の場合は、共著の場合に準じて、共訳者や本人担当部分がわかるように記載してください。なお、英語表記の場合“訳書名”等の表記にしてください。</p>

翻訳等の場合

業績書記入時点において、刊行されていないもの(近刊、印刷中)は、本業績書には記載できませんので、ご注意ください。

提出前チェックシート

履歴書・業績書作成後の確認用として適宜、ご利用ください。なお、このシートの提出は不要です。

【履歴書】

- 1 ふりがなの記載漏れはありませんか？
- 2 年齢は、採用予定の日付に対応していますか？
- 3 学歴は、満15歳以降で記載されていますか？
- 4 卒業・修了・退学に記載漏れはありませんか？
- 5 休学期間がある場合、その期間が記載されていますか？

【業績書】

～学位～

- 6 学位名が修士(〇〇学)や△△学修士など正しく記載されていますか？
※1991年7月以降に日本の大学で学位を取得した場合は、修士(〇〇学)という表記となります。
- 7 学位取得年月日と履歴書の学歴に記載した課程修了の日付が合致していますか？(但し、異なる場合もあります。)

～論文・著述・その他～

- 8 修士論文から記載されていますか？
- 9 項目別に時系列に記載されていますか？
- 10 論文等のページ数を「p」で記載する場合、1ページの場合は、「p.〇」、複数ページの場合「pp.1～10」のように記載されていますか？
- 11 出力した際に文字が正しく表示されていない箇所はありませんか？
- 12 記載された業績は、業績書作成日時点においてすべて刊行されていますか？
(刊行されていないもの(近刊、印刷中など)は本業績書に記載できません。)

<記入例>

教育業績書		
書式4	年 月 日	
氏名		
研究分野	研究内容のキーワード	
教育上の能力に関する事項		
事 項	年月日	概 要
1 教育方法の実践例		(例) 授業外における学習を促進する取り組み、授業内容のインターネット上での公開
2 作成した教科書、教材		(例) 授業や研修指導等で使用する著書、教材等
3 教育上の能力に関する大学等の評価		(例) ①学生による授業評価、教員による相互評価等の結果 ②各大学における自己点検・評価での評価結果
4 実務の経験を有する者についての特記事項		(例) ①大学の公開講座や社会教育講座における講師、FD関係業務、シンポジウムにおける講演等 ②訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修
5 その他		(例) ①大学教育に関する団体等における活動、教育実績に対する表彰等 ②国家試験問題の作成等 ③教育機関での体育実技指導歴（●●大学にてソフトボール指導4年等）があればここに記載ください。
職務上の実績に関する事項		
事 項	年月日	概 要
1 資格、免許		(例) 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員、アスレティックトレーナー等の資格で担当予定授業科目に関連するもの
2 特許等		(例) 特許、実用新案等で担当予定授業科目に関連するもの
3 実務の経験を有する者についての特記事項		(例) 大学との共同研究、各種審議会・行政委員会、各種ADR等の委員、行政機関における調査官等、研究会・ワークショップ等での報告や症例発表、調査研究、留学、海外事情調査等
4 その他		(例) 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等、論文の引用実績等

※教育能力の5. その他欄の「教育機関での体育実技指導歴」には、必ず**競技種目**をご記入下さい。

備考：規格はA4とする。

<記入例>

書式5

競技種目業績書

業績書作成日 20 年 月 日

氏名 今出川 太郎

○競技業績

大会名	年月日	場所	記録	備考
第●●回全日本学生テニス選手権大会	1995年●月●日	有明テニスの森公園	個人2回戦敗退	

○指導業績

競技指導歴をお持ちの方はお書き下さい。

年月日	事項	備考
2004年4月1日	●●大学テニス部コーチ（～2006年3月）	

備考:規格はA4とする。